

令和6年度第1回埼玉県若年性認知症自立支援ネットワーク会議
次 第

日時：2月7日（金）15時から
WEB 会議（Teams）
県事務局 埼玉教育会館 102 会議室

1 開会

2 議事

- （1） 若年性認知症サポートセンターの活動報告
- （2） 認知症ご家族の体験談
- （3） 質疑応答

3 閉会

令和6年度 埼玉県若年性認知症自立支援ネットワーク会議 委員

区分	所属	氏名(敬称略)	出欠
医療関係者	一般社団法人埼玉県医師会	副会長 丸木 雄一	出席
認知症の本人・家族関係者	公益社団法人認知症の人と家族の会埼玉県支部	代表世話人 花俣 ふみ代	出席
有識者	医療法人TKメディカル 神谷医院	医院長 神谷 達司	欠席
介護事業者	埼玉県認知症グループホーム・小規模多機能協議会	理事 山田 茂	出席
	一般社団法人 埼玉県介護支援専門員協会	理事 後藤 浩之	出席
	一般社団法人 埼玉県老人福祉施設協議会	副会長 土居 敦志	出席
	公益社団法人 日本認知症グループホーム協会 埼玉県支部	支部長 大場 敏明	欠席
認知症地域支援推進員	吉見町 長寿福祉課	係長 長峰 千恵子	出席
障害者就労支援	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉障害者職業センター	障害者職業カウンセラー 山森 恵美	出席
若年性認知症支援コーディネーター	公益社団法人認知症の人と家族の会埼玉県支部	松本 由美子	出席
		佐藤 史子	出席

令和6年度
若年性認知症自立支援ネットワーク会議
令和7年2月7日

若年性認知症サポートセンター の活動報告

埼玉県若年性認知症支援コーディネーター
松本 由美子

2024年度(12月まで) 若年性認知症サポートセンターの相談実績

相談者種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		総計	
	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数	新規	延べ数
本人	2	18	3	23	5	29	5	28	2	45	1	26	1	37	3	36	3	29	25	271
家族	7	104	4	97	6	71	4	102	5	75	5	62	6	82	6	92	6	72	49	757
職場・企業（産業医含）		9	1	5		2		2		2	1	11	2	11		12		6	4	60
医療機関	2	2		1		4	1	6		5	1	2		3		1		2	4	26
市町村担当課		9		6	1	18		12	1	11		16	1	8		11		12	3	103
地域包括支援センター		15		18	1	9	1	17		13	2	18		20	2	10		20	6	140
障害福祉サービス事業所				4						1		1				5		3	0	14
障害者就労支援関係事業所		1		10		2		3		1		2		1		5		4	0	29
居宅介護支援事業所	1	7	1	12		8		6		3				3		3		3	2	45
年金事務所・社労士等						4		2		2		1				2			0	11
その他		17		5	3	7		13	1	17	1	20	1	19		17		15	6	130
総計	12	182	9	181	16	154	11	191	9	175	11	159	11	184	11	194	9	166	99	1,586

- ◆ 12月までの延べ相談数は1586件、1 か月平均176件（前年比平均133件）
- ◆ 12月までの新規相談数は99件、1 か月平均11件
- ◆ 家族からの相談が最も多く、次に本人、地域包括支援センターと続く
- ◆ 医療機関からの相談より、企業からの相談が多くなっている

今年度(4月～1月)の家族交流会について

家族交流会名	開催日時	参加者数	特徴
たんぽぽ	奇数月：第2土曜日 13：30～15：30	23名 (5回)	若年性認知症の方を在宅で介護されている家族の交流会 ※医師の参加あり
ひまわり	偶数月：第2金曜日 13：30～15：30	36名 (5回)	若年性認知症の方が入所や入院している方、看取り終わった方でも参加可能 ※医師の参加あり
前頭側頭型認知症 の家族会	奇数月：第2土曜日 10：00～12：00	29名 (5回)	前頭側頭型認知症（発症は65歳未満に限る）の方の家族の交流会 ※医師の参加あり
夜会	偶数月：第2火曜日 18：30～20：30	26名 (5回)	若年性認知症の家族の方 （アルコール持ち込み可）
子世代のつどいの	偶数月：第2火曜日 19：30～21：00	13名 (4回)	若年性認知症の親を持つ子ども世代の方（オンライン開催もあり）

延べ127名の参加者数となり、顔なじみの家族同士の交流も増えている

家族支援の事例

《増田さんの支援:夫は前頭側頭型認知症》

2019年3月初回相談、3年半前に診断を受け就労継続していたが、職場から継続困難といわれた。包括と連携し介護保険、障害サービスの両方を利用できるよう調整。会社は休職とし、サービス利用を開始した。リンクフェにも夫婦で参加し、ピアノを弾いたりカラオケを歌ったりして楽しんでいた。家族の会主催の交流会にも二人で参加するようになった。妻はサポートセンター主催の家族交流会にも継続して参加し、家族同士の横のつながりも出来ている。

本人が行方不明になったり、異食があったり、子どもが結婚したり、夫婦で旅行に行ったり、何かあれば相談や報告を受け、アドバイスしたり背中を押したりしている。

《大熊さんの支援:妻はアルツハイマー型認知症》

2023年2月初回相談、主治医にリンクフェを紹介され参加希望。

すぐにリンクフェに夫婦で参加。当初本人はかなり緊張していたが徐々に慣れ笑顔が増えてきた。一方、一緒に参加していた夫は本人が色々出来ないことを受け入れられず、すぐに怒ってしまう状況であった。

包括と連携し自宅訪問。介護保険のサービスも利用してみるよう促したが、本人が嫌がり利用には至らず。その後ずっと夫婦でリンクフェに参加しており、夫も徐々に妻の認知症を受け入れ怒らないようになった。今では愛犬も一緒にリンクフェに参加している。

若年性認知症サポートセンターでの家族支援

若年性認知症の家族の多くは『こんなはずじゃなかったと』思っている

本人・家族に寄り添って

- ・認知症を受け入れるまでに必要な時間はそれぞれ
- ・夫婦・家族の関係性は様々で当然
- ・家族の生活の質、人生の質も大切にする

多方面にわたる必要な情報提供

- ・就労支援から、障害サービス、介護保険、医療等すべての分野でニーズの判断とサポートの提案をする

初期は集中的にその後は断続的に長期間にわたる

- ・診断直後から空白の期間は集中的な支援が必要
- ・診断前から亡くなるまでの経過の中で、入院・施設入所しても家族の不安は消えず、緩やかに繋がる

地域の関係機関と連携して

- ・地域包括支援センターやケアマネ等と役割分担
- ・地域の家族会や認知症カフェの紹介

若年性認知症自立支援ネットワーク研修の開催

【目的】

- ・ 若年性認知症の人の支援に携わる人に対して、若年性認知症の人が利用できる社会資源に関する情報や、若年性認知症の人の特性に配慮した支援のために必要な知識・技術を習得する
- ・ 保健医療福祉の関係機関における連携体制の構築

【令和6年度の研修テーマ：若年性認知症の人の家族支援】

講演① 若年性認知症サポートセンターの役割と機能

若年性認知症支援コーディネーター

講演② 若年性認知症の方の家族支援

一般社団法人ケアラーワークス代表理事 田中悠美子

講演③ 若年性認知症の家族のおもい（配偶者・子ども）

若年性認知症の配偶者と子ども

対面で開催した研修内容を、埼玉県のYouTubeチャンネルにて動画配信

動画配信期間：令和6年12月24日(火)～令和7年1月31日(金)

企業向けセミナーの開催（企業等への理解促進事業）

埼玉県のYouTubeチャンネルにて期間を限定して動画を配信中

動画配信期間：令和7年2月3日(木)～令和7年3月10日(月)

【動画 1】 「埼玉県における若年性認知症の施策について」

埼玉県地域包括ケア課 認知症・虐待防止担当

【動画 2】 「若年性認知症の方の就労支援について」

金沢大学 看護学科 表 志津子先生

【動画 3】 「職場における支援の取り組みについて」

株式会社ニチイ学館 大宮支店ヘルスケア課課長 古橋 裕己氏

就労等社会参加支援事業について



2024年度の再就職支援事例

2024年度 7名				
50代 Aさん	女性	就労継続B型事業所	東松山市	
60代 Bさん	男性	就労継続A型事業所	さいたま市	
50代 Cさん	女性	就労継続B型事業所	さいたま市	
40代 Dさん	男性	就労継続B型事業所	戸田市	
60代 Eさん	女性	就労継続B型事業所	さいたま市	
50代 Fさん	男性	就労継続B型事業所	上尾市	
50代 Gさん	男性	就労継続B型事業所	吉見町	

「リンカフェ」の活動状況

毎週木曜日 午前の部10:00~12:00
午後の部13:00~15:00

**若年性認知症の方が集える場
リンカフェ**

若年性認知症の方とその家族、支援をしている専門職の方等が参加できます



若年性認知症の当事者がお待ちしています。

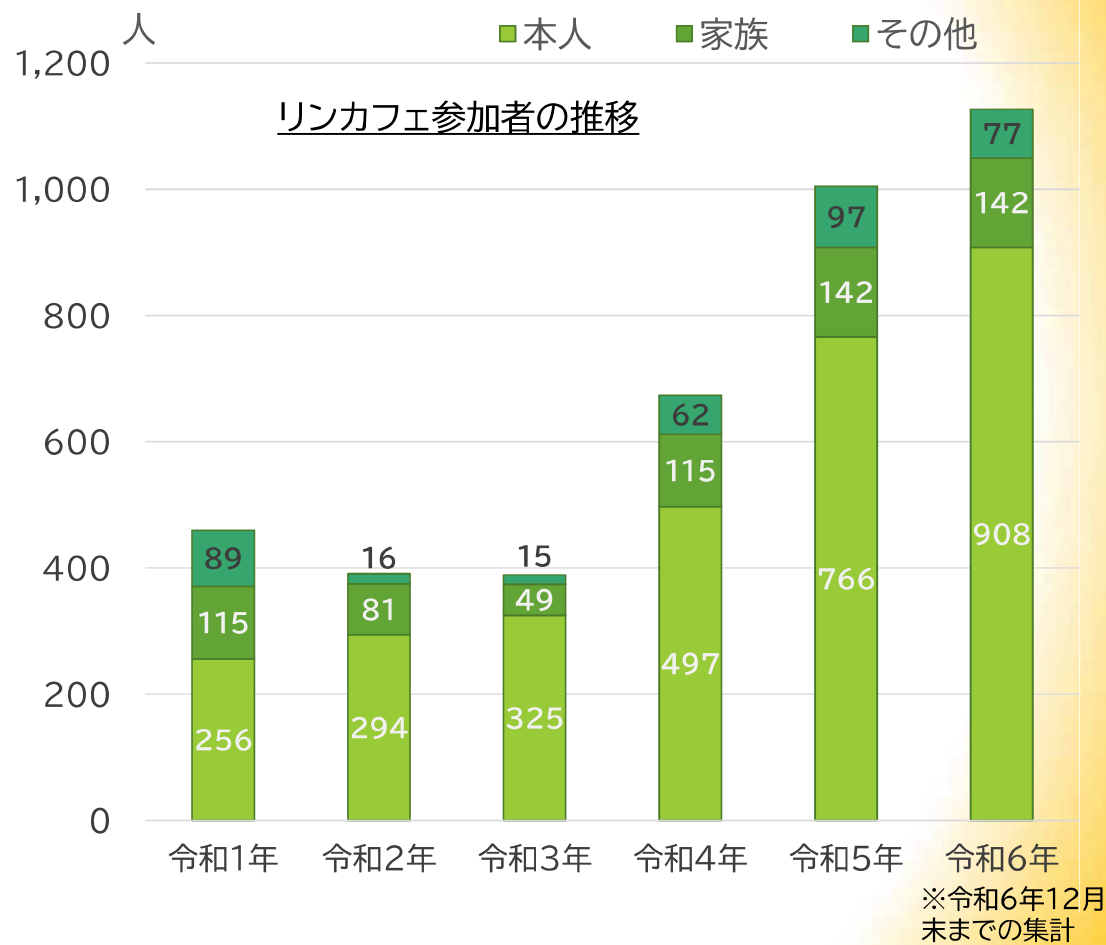
若年性認知症支援コーディネーターが様々な相談に対応します。

参加希望の方はご連絡下さい ☎ 048-814-1212

主催 若年性認知症サポートセンター
(埼玉県、さいたま市委託事業)

場所 さいたま市浦和区常盤3-12-17 日建プリムローズ常盤第3 1F
JR京浜東北線 北浦和駅 西口 徒歩7分

E-mail jakunen2017@sage.ocn.ne.jp



2024年度の今課題と感じていること

若年性認知症の方が利用できる社会資源の周知が出来ていない

- ・診断から数年たってからの相談でも、自立支援医療、精神障害者福祉手帳等の申請をしていない方が多く、医療機関や相談機関からも案内されていない

市町の相談機関において、若年性認知症の相談を受ける機関が明確になっていないため、連携構築に時間がかかる

- ・地域包括支援センターに連絡すると、65歳未満の相談は違うと言われることが少なくない
- ・初期集中支援チームも対象外といわれることがある
- ・障害福祉等の相談窓口では、事例が少なく対応に不慣れでありその後に繋がっていない

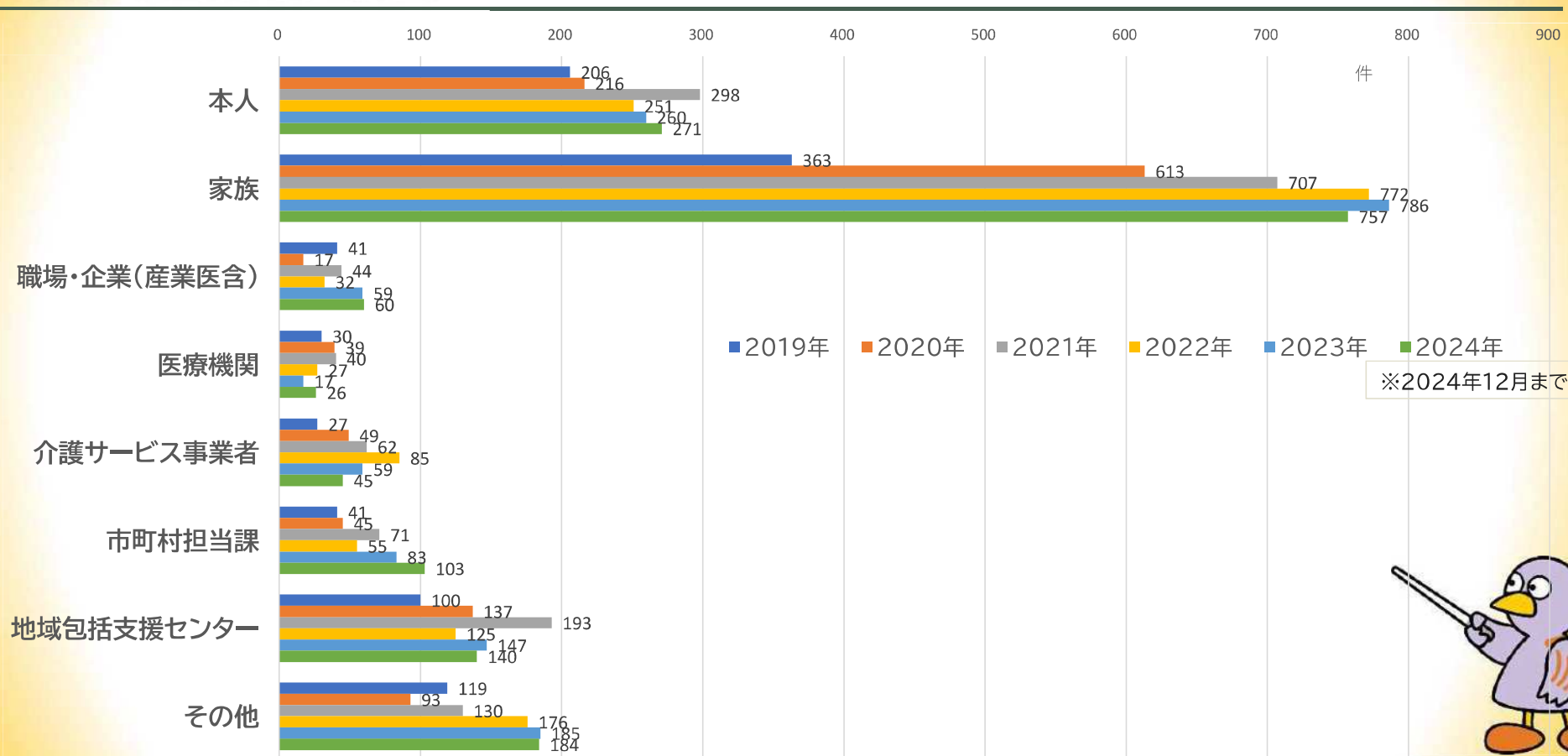
身近な場所に若年性認知症の方と家族の居場所が出来ていない

- ・市町単位で若年性認知症の方が居場所と感ずることが出来る認知症カフェや交流会の情報を得ることが出来ない
- ・サポートセンターが後方支援してカフェを立ち上げているが、まだまだ不足している

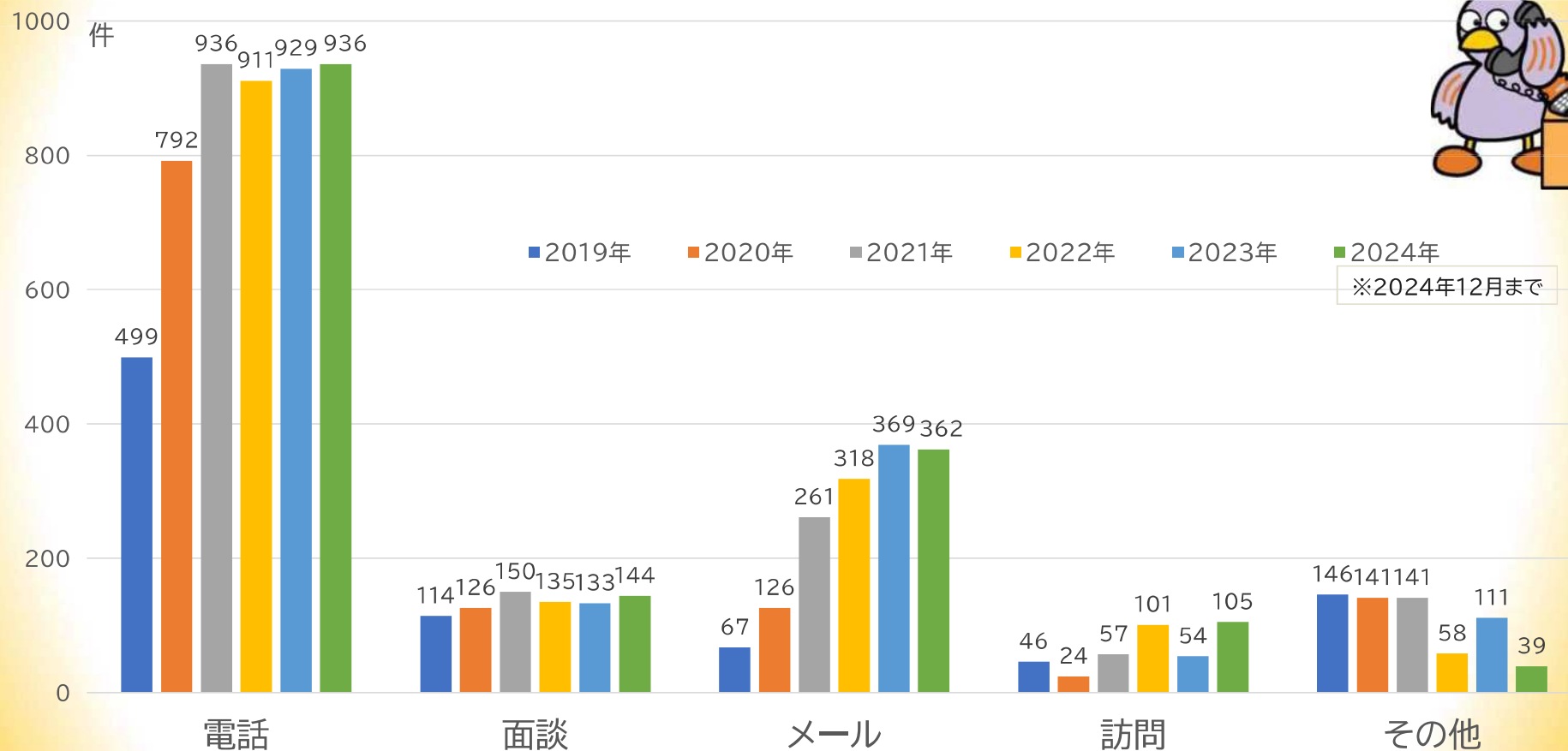
参考資料 相談実績グラフ



相談者別実績

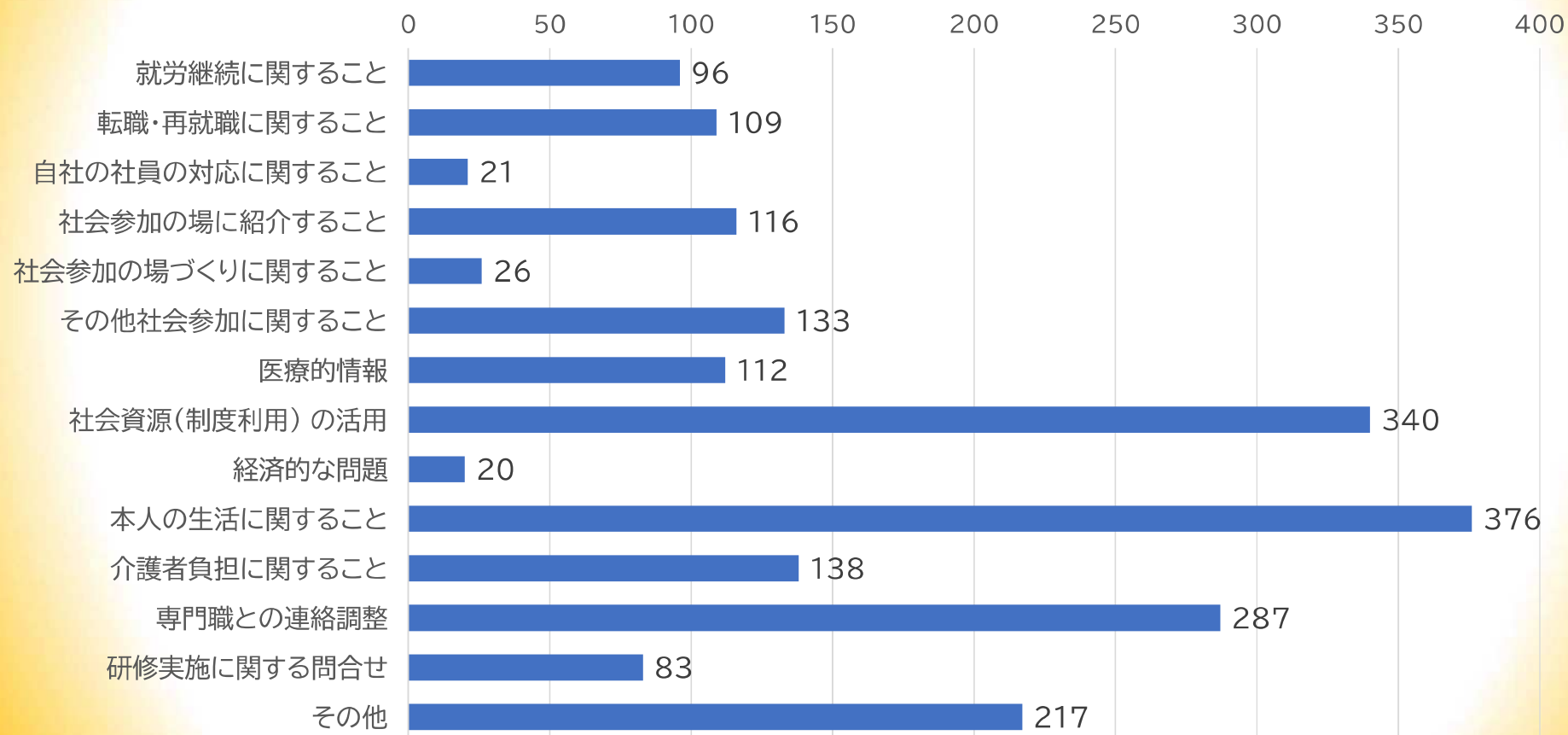


相談方法別実績



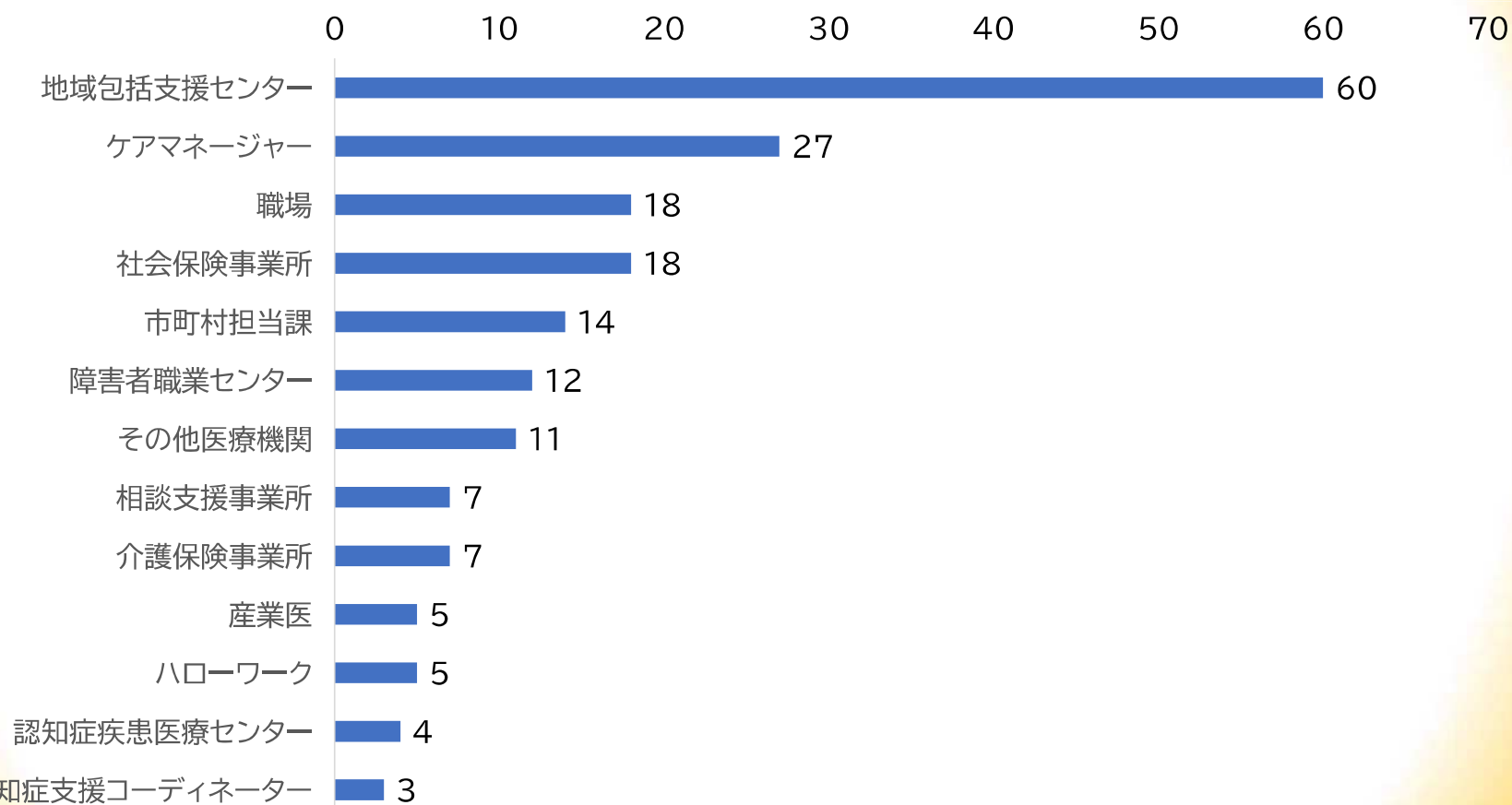
相談内容別実績

2024年4月～2024年12月までの相談



対応に当たり連携した関係機関別実績

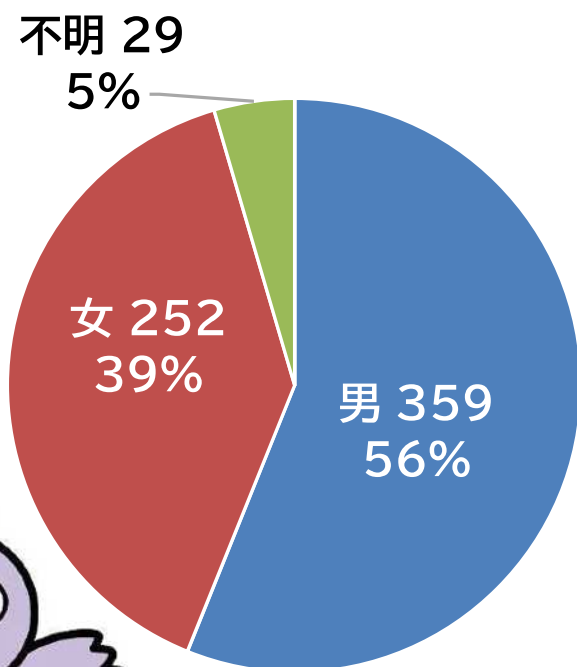
2024年4月～2024年12月までの相談



新規相談者の状況 ①

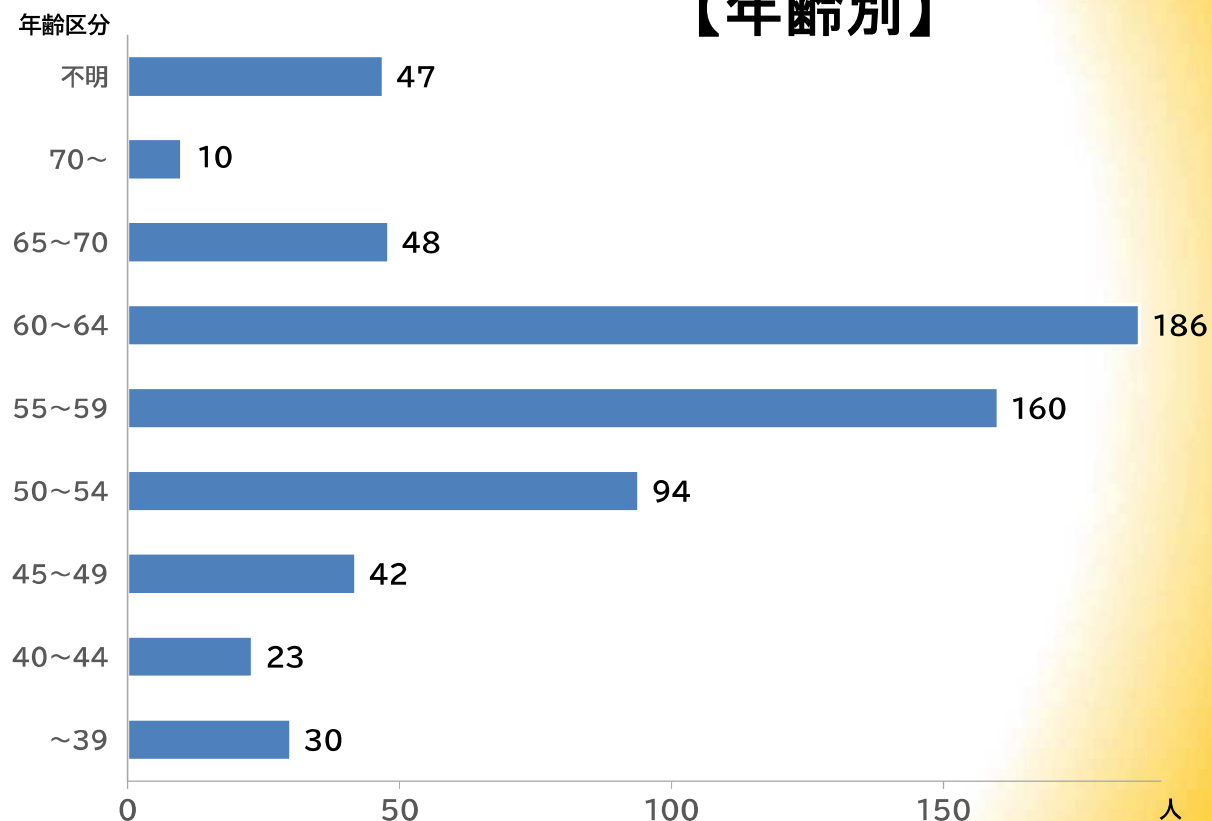
2019年4月～2024年12月までの新規相談:739件

【男女別】



埼玉県・さいたま市若年性認知症サポートセンター

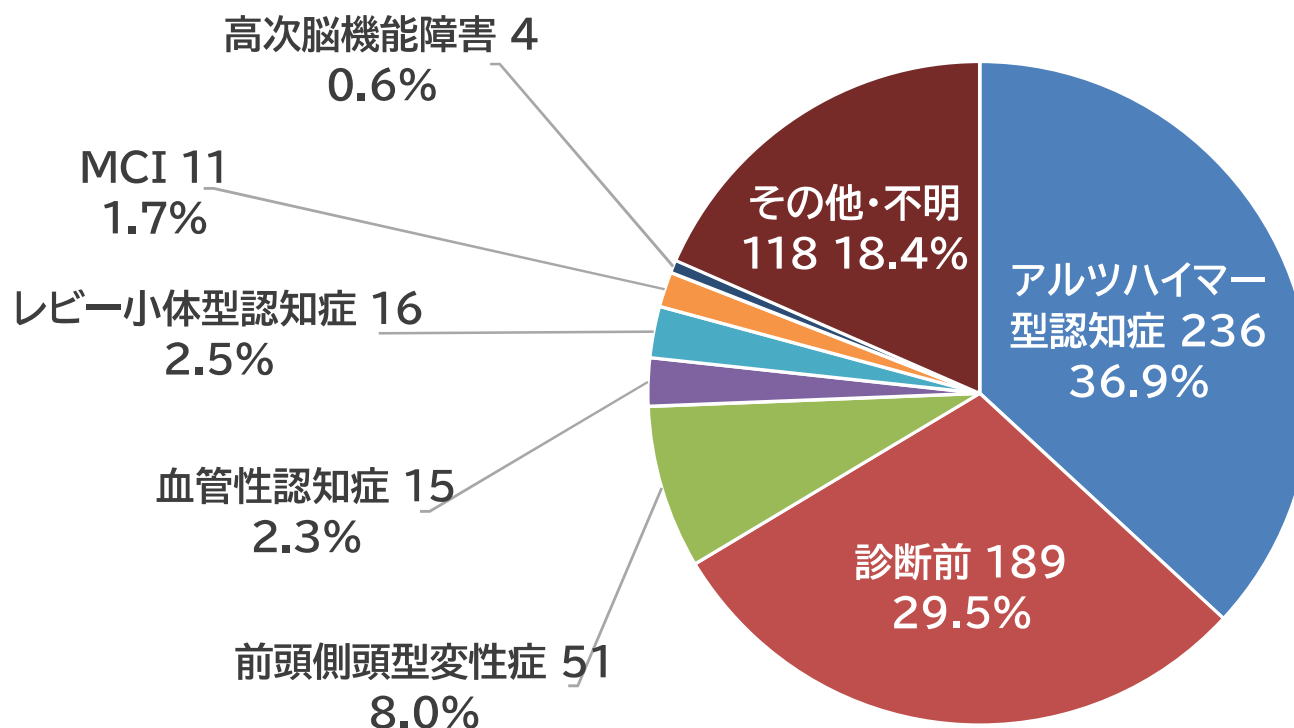
【年齢別】



新規相談者の状況 ②

【原因疾患別】

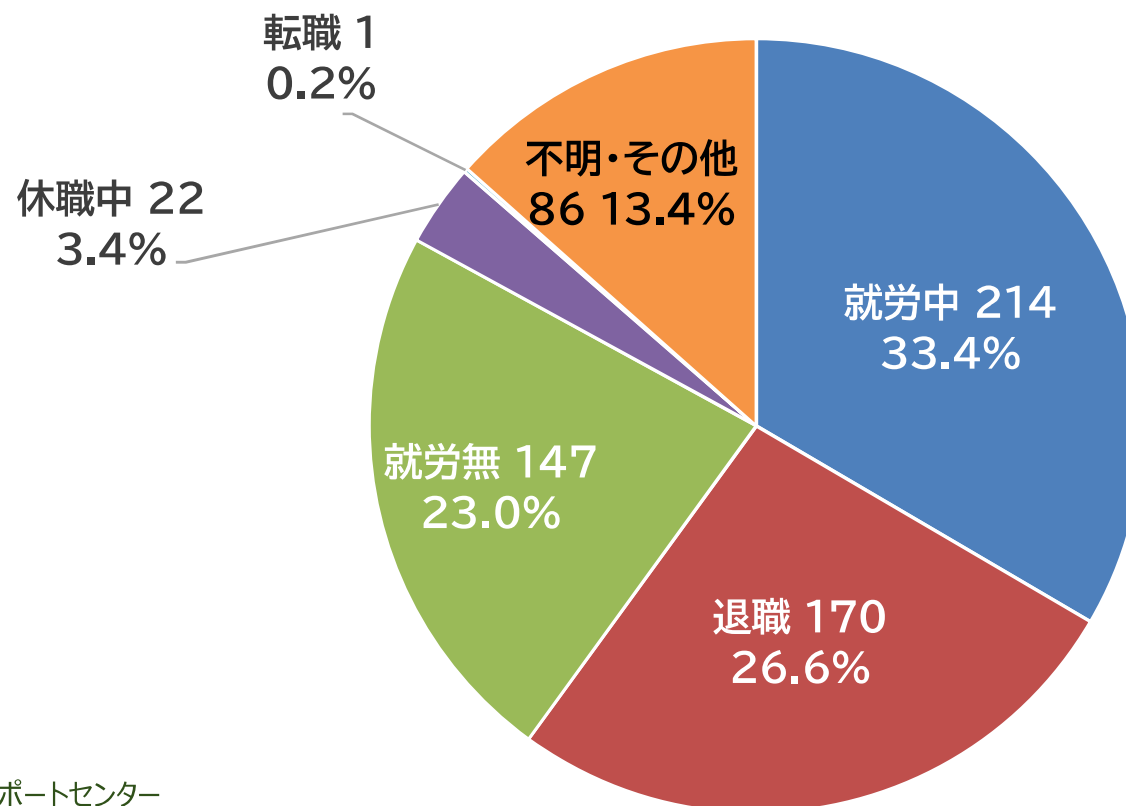
2019年4月～2024年12月までのサポートセンターの新規相談:739件



新規相談者の状況 ③

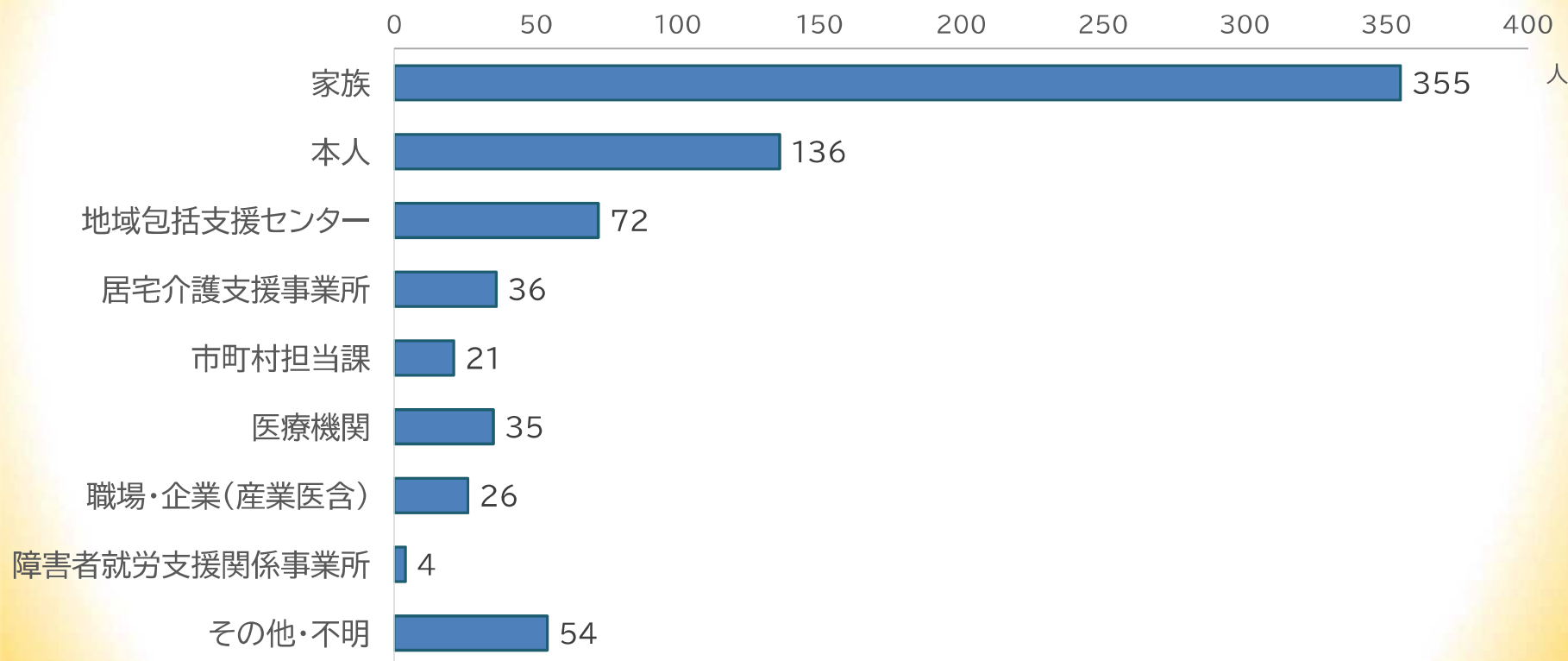
【相談時就労状況】

2019年4月～2024年12月までのサポートセンターの新規相談:739件



新規相談の状況④

【相談者別】 2019年4月～2024年12月までの新規相談:739件



市町別新規相談者の状況

2019年4月～2024年12月までの新規相談
739件のうち居住地が確認できた県内の635件の内訳

